

2025年12月5日(金曜日)の毎日新聞に きらむぎ店イベントについて掲載されました!

2025年(令和7年)12月5日(金)

毎日新聞

パン製造販売会社
「パン・アキモト」(那
須塩原市)は、地域の
防災意識向上を目的と
した親子で楽しめる体
験イベント「防災体験
フェス」を6、7日、
同市東小屋の石窯パン
工房きらむぎで開催す
る。両日は、創業78周
年を記念した創業祭も
行われる。

同社は、1995年
の阪神大震災の際に被
災地にパンを届けたも
のの、輸送の遅れで多
くが腐ってしまった経
験から「おいしくて柔

パンの缶詰で 防災を考える

6、7日 那須塩原でフェス

らかいまま長期保存で
きるパンを作る」と決
意。試行錯誤を重ね、
長期保存が可能な缶入
りパンを完成させた。
安心・安全なおいし
い防災備蓄パンとし
て、東日本大震災や熊
本地震の被災地でも喜

ばれたほか、賞味期限
前の商品を回収し海外
の飢餓地域へ届ける
「救缶鳥プロジェクト」
も展開している。

また、自衛隊ブース
会場では同プロジェクト
の紹介のほか、パン
の缶詰も販売する。



2024年に発生した能登半島地震では被災地でパンの缶詰を配布した(石川県輪島市)パン・アキモト提供

創業祭では、人気パンの特価販売やパン購入者が参加できる抽選会も実施される。両日とも防災フェスは午前9時~午後3時(抽選会は午前10時から)、店舗営業時間は午前7時~午後6時半。

同社の秋元義彦会長は「災害時は行政も混乱しているので、まずは自助・共助が重要なことになる。おいしいパンを食べながら、防災への関心を高めてほしい」としている。

【村田拓也】